



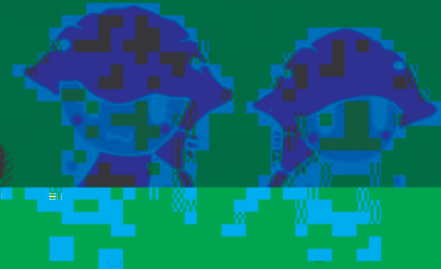
## シンポジウム

# ヒト、カブトガニ、干潟 海はだれのもの？

日本には生きた化石カブトガニの生息する素晴らしい干潟がまだ残っています。カブトガニの

カブトガニはつ、人間の保護を必要としています。次世代にこの宝を残すために、まずは彼ら

生息する干潟の保全が重要です。



## 第1部(日本の干潟、世界の干潟)

13:00-13:40 本日はお集まりいただきありがとうございます(仮題)

13:40-14:20 向井 宏(元北海道大学)「日本と世界の干潟の保全」

14:20-14:30 休憩

司会 武石全慈(北九州市立自然史・歴史博物館)

15:55-16:15 小池 裕子(九州大学総合研究博物館)、西田 伸(宮崎大学教育学部)

「干潟食物連鎖の中でのカブトガニの特徴」

16:15-16:35 大塚 攻(広島大学)「カブトガニ保全の問題点を探る」

司会(広島大学)  
全講演者

司会 清水則雄(広島大学)  
16:35-17:00

お問い合わせ

hiroshima-u.ac.jp

○会場に関すること

北九州市立自然史・歴史博物館 武石全慈  
e-mail takeishi@kmnh.jp  
tel 093-681-1011

○シンポジウムの内容に関すること

広島大学 大塚 攻  
e-mail ohtsuka@hiroshima-u.ac.jp  
tel 0846-22-2362

本シンポジウムは福武財団の援助を受けました